

経営比較分析表（令和3年度決算）

青森県 つくしが丘病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	精神科病院	精神病院	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	3	-	-	災
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
1,243,081	11,059	非該当	非該当	15 : 1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

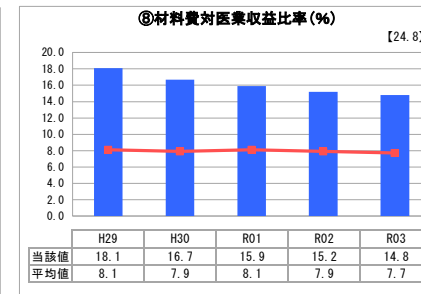
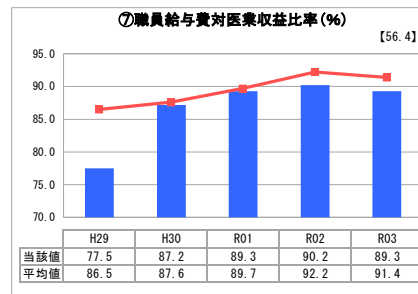
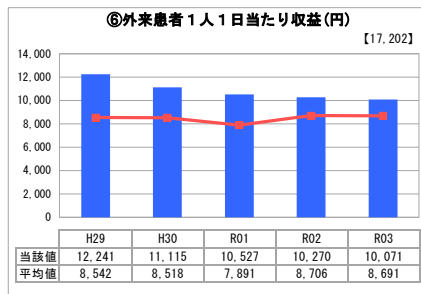
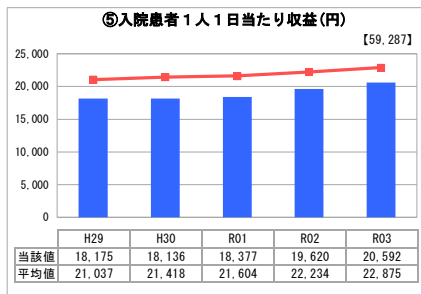
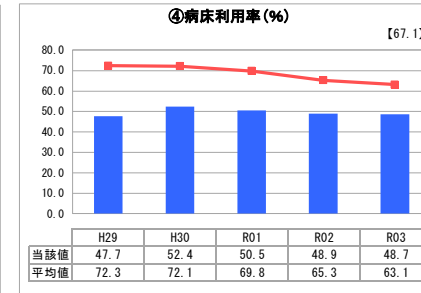
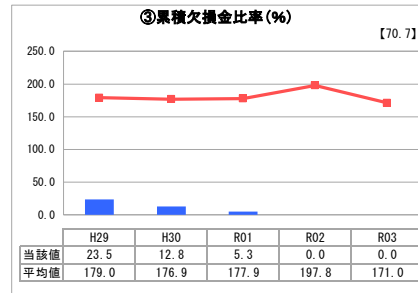
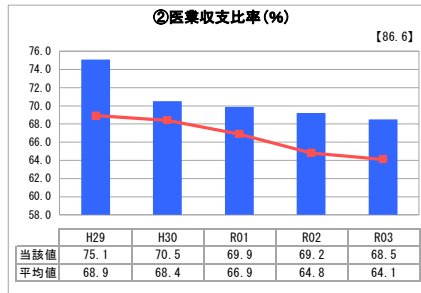
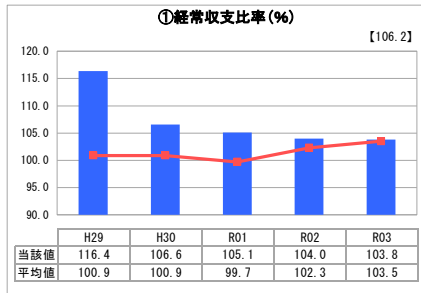
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
230	-	230
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
-	-	-

■ 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

1. 経営の健全性・効率性



I 地域において担っている役割

本県唯一の県立精神科病院として、他の精神科病院が対応困難な患者を受け入れている。
また、患者の早期の地域移行を目指した入院医療を実施しつつ、退院後は安心して地域生活を継続できるよう患者の状態やその家族に応じた外来医療と訪問支援を提供するなど、患者の円滑な地域移行・社会復帰の促進に取り組んでいる。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常黒字により①経常収支比率が100%を上回り、③累積欠損金比率でも0%となっている。
④病床利用率が平均よりも低いが、医業収益に応じた職員数による効率的な運営に努めた結果、②医業収支比率は平均を上回り、⑦職員給与費対医業収益比率は平均を下回っている。
⑤入院患者1人1日当たり収益が平均よりも低いが、精神科救急入院料の算定開始等により差が縮まってきている。
⑥外来患者1人1日当たり収益及び⑧材料費対医業収益比率が平均よりも高いが、郊外に位置する地理的条件等により院外処方が進んでいないためである。

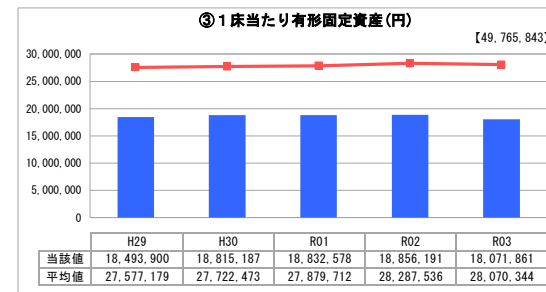
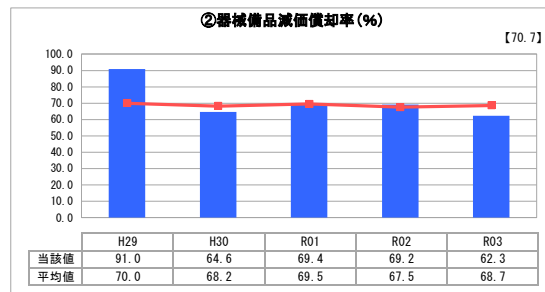
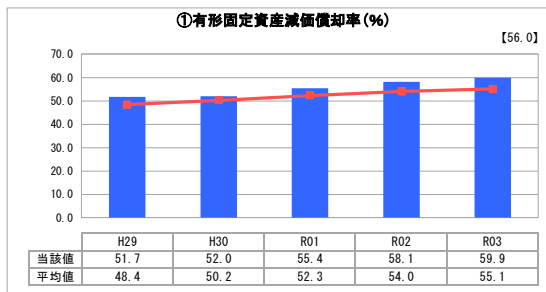
2. 老朽化の状況について

現院舎を供用開始してから令和3年度で12年が経過して減価償却が進んでいるため、①有形固定資産減価償却率は平均を上回り、③1床当たり有形固定資産では平均を下回っているが、医療機器を中心に計画的に更新していることにより、②器械備品減価償却率は平均を下回っている。

全体総括

精神科医療が入院医療中心から地域生活中心に移行していることを踏まえ、入院医療においては適切な体制づくり、外来医療においては訪問看護やショートケア等の在宅支援の充実・強化等に取り組むなど医療機能の向上を基盤として、さらなる安定的経営に向けて取組を進めていく。

2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。